



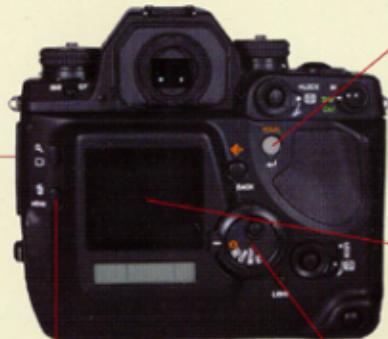
CONTAX T2
DIGITAL

2002年2月1日 発売予定

メーカー希望小売価格 800,000円(税別)

銀塩写真に並ぶ解像・階調とデジタルの即応性・自由さの融合

600万画素クラスのデジタル画像の実力は解像で銀塩フィルムにほぼ等価であり、そのダイナミックレンジはリバーサルフィルムを凌駕するものといえます。またデジタルシステムは、銀塩のように粒子に依存しないため中・低濃度域でのグラデーションの滑らかさには本質的な美しさがあります。そして、「結論がすぐわかる」デジタルならではの即応性と加工の自由度の高さが、あらゆるステージにおける写真表現の世界を確実に広げます。



各種ホワイトバランスを搭載

ホワイトバランス機能は、本体内蔵の色検知センサーにより自動補正が可能な「オート」以外に、被写体の特定部分で基準白色を予めワンプッシュでセットできる「ワンプッシュプリセット」、あらかじめ色温度を段階値で任意指定できる「カスタム」の3つを搭載致しました。様々な撮影シーンに於いて、ホワイトバランスを使用者の意のままに設定することが可能です。

多彩な画質記録モードを搭載

画質モードは圧縮率を3種類選択できる最も一般的なJpeg形式、非圧縮TIFF形式、パソコン上で色処理を行うRAW形式を搭載いたしました。特にRAW形式は、スタジオ撮影等コマーシャルフォト分野で重宝されるモードです。ポータブルタイプのパソコンと接続することにより、アウトドアでも高速の連続撮影が実現できます。

見やすい再生用液晶モニターを搭載

カメラ背面には、撮影画像や各種データを美しく・見やすく表示する、20万画素TFT2.0型・低温ポリシリコン液晶モニターを搭載しました。各種設定や画像情報表示も、判りやすいグラフィク・ユーザー・インターフェース(G UI)と共に、非常に使いやすいものに仕上がっていいます。露出チェックやピント確認、ファイル情報の閲覧等にも威力を発揮します。

撮影アシスタント機能

露出範囲の確認、補正幅の設定など視覚的に把握できるヒストグラム表示(明部から暗部までの信号分布グラフ)や、撮影時・再生時のピント状況確認などに便利な撮影アシスタント機能を搭載いたしました。また画像ファイルに書き込まれた露出情報や、その他ファイル情報も同時に表示します。

記録媒体は CF type I / II に対応

本体内蔵の記録媒体には汎用性が高く、大容量のものが入手しやすいコンパクトフラッシュ(CF)を採用しました。また本スロットは、IBM社製マイクロドライブ(510MB、1GB)も使用でき様々なメディアへの対応も考慮されています。